

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	いきるちから3		公表日	2025年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		机などの障害物を移動してスペースと安全面の確保をしながら活動を行っている。	低年齢には丁度良いが、運動や集団活動には少し狭く感じることもあるので、活動に応じた空間の作り方を考えていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		必要人員の配置だけでなく、加配としてスタッフを配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		声の大きさカードを貼り視覚で示し、床にマットを敷いて寒さと転倒時のケガのリスクを軽減する対応をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		夕方と朝に掃除を行っている。 座って出来るお仕事をする時は机で行い、身体を動かす活動と空間を分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	必要時にマットで個別の空間を作って対応している。 机は個別で自由に使えるように配置している。	保護者面談の際や子供の気持ちを1対1で話せる環境作りを心掛けていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		事業所全体では毎月会議を2回行い周知し、事業所内では毎朝のミーティングを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員に周知し改善点や伝え方の工夫をするよう取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎朝、細かくしっかりと話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修と外部研修の研修の参加や研修内容が浸透するように、書面と口頭とで必要に応じて行い、支援の質を高めるように努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		保護者のニーズと支援者からの視点を取り入れ作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々のお子さまの状況に応じて客観的にまとめ作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		現場スタッフと、児発管だけでは把握しきれない細かな日々の状況を共有し合い検討を重ねている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々のお子様の状況と変化のスピードは異なり様子を見ながらのケースもあるため、すぐ共有が出来ていないケースもあるが、アセスメントからスタッフ間で話し合い支援の方向を決めその後すり合わせをしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保護者様から、児童相談所や医療機関で行った検査結果を見せていただけた場合、参考にしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		冊子を常設しガイドラインを定期的に説明し周知されるよう対応している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全スタッフで年間、月事、毎日の活動を話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日の活動プログラムが一緒にならないよう考えている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の発達に応じ、個別での得意なこと、集団での社会性を育めるような視点を持ち作成したものを日々の対応に活かしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、細かくしっかりと話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		当日に共有すべきは行い、送迎時間後は就業時間を越えてしまうこともあるため、次の朝に細かく振り返り共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録の上振り返りながら、より良い支援に繋げていけるように努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		少なくとも半年に一回の見直し、成長に応じて早期の見直しが必要なら行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と現場主任が出来るだけ参加し会議の内容も周知している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療児ケアが不可欠な児童は利用していない。担当者会議等で保育園等に出向いて連携をとり、子ども部会等での情報共有を支援に繋げている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		特別支援学校（幼稚部）のお子様は利用されていない。保育園・幼稚園との連携をとり支援への相互理解と統一を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	直接のやりとりは現在のところ無いが、保護者からのご相談の中で必要性が有れば検討していく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		連携が必要な事案が有れば機会を作りたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育所や認定こども園、幼稚園のイベントには参加していないが、季節のイベントで地域の福祉事業所と交流する機会はある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の送迎時に出来たことや支援したことを、保護者様が安心できるようお伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	面談の際や電話やLINE、送迎時などに保護者様に利用しやすい形を取り、相談を受けたら受容した上で対応策をご提案している。	限られた頻度ではあるが、児童発達支援センターなどの公共施設でのペアトレ等の研修があるので情報提供をしたいと思います。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に細かく説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		モニタリング面談の際に今後の支援方法をご説明し了解を得て書面にまとめて同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		卒所され同じ小学校に移行される個別での保護者様同士の仲立ちをしている。卒所イベントでは保護者やきょうだい同士との交流を設けている。	今後、保護者参加のイベントを増やしていきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご相談や申し入れが必要であれば迅速に整備し、過不足なく適切に対応したことを周知するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日ブログを更新している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の明記した書類は全てシュレッターにかけている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様や保護者様の個々の状況を踏まえ伝え方を工夫しながら、情報が的確に伝わるよう小まめに丁寧に対応している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方を招待する機会はまだないが、少人数での活動は検討したい。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時にマニュアルの説明を行い、子供にわかりやすいように日々の活動に取り入れ、危険な箇所、避難場所の認識を深めてもらうよう努めている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員の意識を高めるためにもアクションプランを作成のため話し合ったり、日々の活動にとりいれている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。			該当される児童はいない。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の診断書が必要な児童はいないが、アレルギーを申告された保護者様には、提供するおやつの成分表を毎回確認していただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理は常に意識し研修と訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者送迎時の危険箇所、飛び出しの危険性等の意識付け等お願いしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必要に応じ作成し、朝礼時に共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待研修を重ね意識を高めるよう努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行うことが必要な児童は利用されていないが、必要な場合は十分な検討と保護者様への理解を得た上で記載する。		